

## 第4学年1組 国語科学習指導案

令和3年10月22日（金）第2時限

指導者 武田 瑞生

### 1 単元 自由に想像を広げて書こう

#### 2 指導計画（6時間完了）

- (1) 不思議な言葉を作り、想像を広げる。…………… 2時間（本時2／2）
- (2) 構成メモをつくる。…………… 1時間
- (3) ショートショートを書く。…………… 2時間
- (4) 伝え合う。…………… 1時間

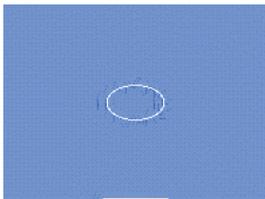
#### 3 本時の指導

##### (1) 目標

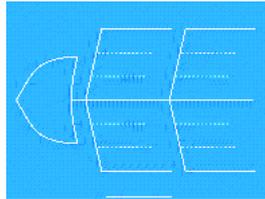
不思議な言葉から想像を広げ、お話のアイデアを考えることができる。（思考・判断・表現）

##### (2) 努力点との関わり

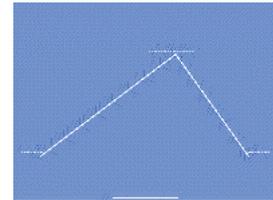
本単元では、不思議な言葉を作り、そこから自由に想像を広げて短いお話を作っていく。そのために、言葉を多面的に捉え、様々な角度から想像する場面でロイロノートのシンキングツールを活用する。言葉を集める場面ではウェビング図、言葉から想像を広げる場面ではフィッシュボーン図、物語の構成を考える場面ではプロット図を用いる。この三つのシンキングツールを活用することは、アイデアを発散したり、組み立てたりするとき効果的な支援につながると考える。



【ウェビング図】



【フィッシュボーン図】



【プロット図】

また、子どもたちから出たたくさんのアイデアを収集し共有する。それにより、子どもたちは自由に友達アイデアをみることができるようになるため、短時間で様々な考えに触れることができると考える。また、たくさんの考えに触れることで自分の考えを広げたり、深めたりすることができるようになると思う。

本時は、自分が作った言葉が表すものはどんなものか、いいところはあるか、悪いところはあるかなどの視点で想像を広げ、お話のアイデアを考えていくことが目標である。子どもたちの思考を手助けする道具としてフィッシュボーン図を用いる。そして、自分の考え以外にも様々な考えがあることに触れるためにペア活動を取り入れたり、提出ボックスから友達意見を見たりすることができるようにする。このように、ICTを活用することによって考えを広げ、深めることができると考える。

##### (3) 準備

教師…教師用タブレット 児童…児童用タブレット

##### (4) 指導過程

時間配分	1	主な学習活動と子どもの様子
3分	1 本時のめあてをつかむ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>前の時間に自分で作った不思議な言葉から、想像を広げよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「あしがはやい」「パン」だから、「食べようとしたら逃げられるかも」しれませんね。こんな風に、「フィッシュボーン図」に自分のアイデアを書いていきましょう</p> </div>



39分

2 不思議な言葉の一つを選び、想像をふくませる。

(1) 自分の作った言葉から言葉の特徴を想像する。

おもしろいアイデアですね。他にはどんな特徴が考えられるかな。



「クリーム系」を考えました。クリームが入っているようにしましょう。

「お菓しの宿題」だから、宿題だけど、食べられるようにしましょう



(2) ペアの友達と話し合いながら想像を広げる。

○ ペアの友達に自分の作った言葉について説明し、話し合いながら想像したことを付け足す。



「かたいいちご」だから、くさらないし、飾ってもおけるんだよ。

おもしろいね。けど、固すぎて食べられないかもしれないね。

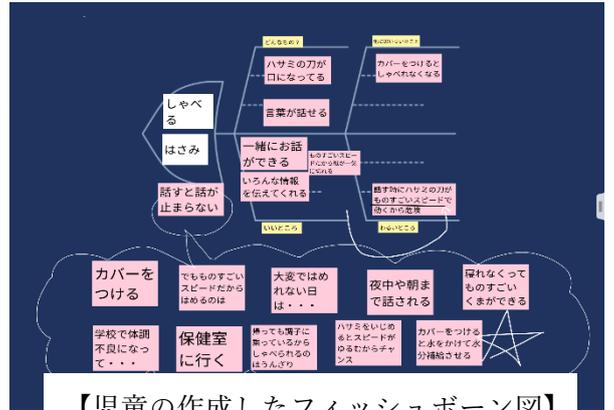
そうだね、それも付け加えよう。

(3) 特徴の一つを選び想像をふくらませる。

○ 自分の考えた言葉の特徴から、物語に使いたい特徴の一つを選び、その特徴があるとどのような出来事が起こりそうか想像をふくらませる。



「しゃべるはさみ」だから、話すと話が止まらないことにしよう。そこからお話を広げていくと…



【児童の作成したフィッシュボーン図】

○ 自分で考えたものをロイロノートの提出箱に提出する。その際に、友達と話し合いたい児童は

カードに大きな星マークを付けさせ、話し合いたい意思表示をさせる。

○ 友達と話し合っても、もう少し自分で考えてもよいと伝える。



こんな風に考えてみたよ。

楽しいお話になりそうだね。そのアイデア参考にさせてもらおう。

私はもう少し自分でじっくり考えたいな。



(4) 想像したことを全体で共有する。

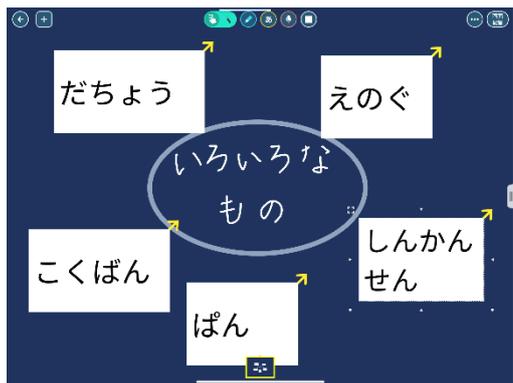
3分

3 次時の活動について知る。

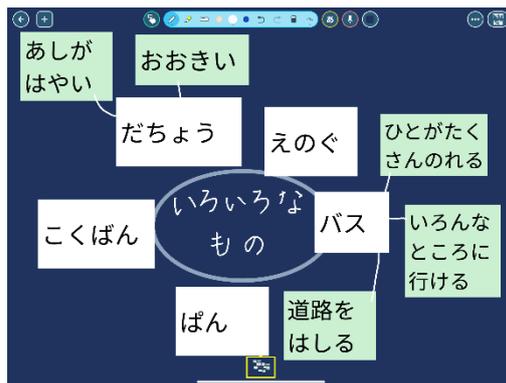
○ 次時では、本時で想像をふくらませた言葉を使って短い物語の組み立てを考えることを伝える。

ロイロノート画面例

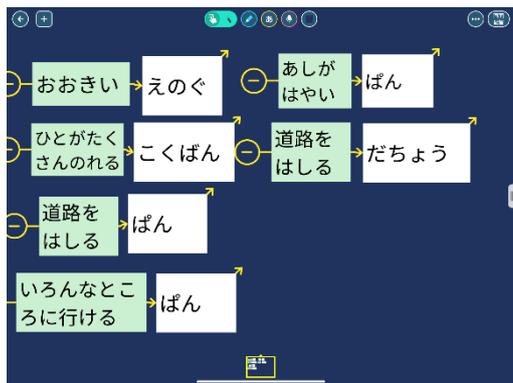
○前時



【言葉集めの場面】



【集めた言葉から思いつくことを書く場面】



【不思議な言葉作りをする場面例】

○本時



【想像を広げる場面例】